

きびじつるの里 6羽の美女

H 17.5.31 生♀

H 17.6.2 生♀



H14.6.19生♀
おとなしくて、優しい性格

H 14.5.17生♀
快活で、キビノと仲良し。

H13.6.5生♀
人なつこくて、ハルが大好き。

H6.5.15生♀
容姿端麗で面倒見の良いリーダー的存在。

きびじつるの里で誕生した丹頂のヒナ2羽の名称を募集します。

募集対象
丹頂2羽（5月31日・6月2日生まれ、いずれもメス）

募集期間
平成17年8月22日（月）～平成17年9月9日（金）
期間内消印有効

賞品
命名者：国民宿舎サンロード吉備路宿泊券1泊2食付ペア（2名）※採用された名称の応募者が複数の場合は抽選となります。なお、応募者全員の中から抽選で粗品進呈（若干名）

応募方法
住所・氏名・年齢・電話番号・名称（2羽分）・名称に関する簡単な説明や意図を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールによりご応募ください。応募は1人1通とし、複数のご応募は無効としますのでご注意ください。なお、県内ですでに使われている名称は採用できませんので、後述の既使用名称をよくご確認ください。

結果発表
9月下旬に直接命名者へ通知。また、広報そうじゃ・総社市ホームページにヒナ名称と命名者を発表。

応募・問い合わせ
〒719-1192 総社市中央一丁目1番1号 総社市役所商工観光課丹頂名称公募係（☎08310 ☎08386 Eメールsyokou@city.soja.okayama.jp

既使用名称（五十音順）
「あ行」アイ、アオ、アカ、アカネ、アキ、アクラ、アケビ、アサヒ、アラシ、アラレ、ウメ、エリモ、エン 「か行」カイ、カエデ、カック、カブト、カンタ、キイロ、キビ、キビノ、キヨウヘイ、キリ、クルメ、クロ、クロメ、ケンタ、コウ、コユキ 「さ行」サキ、サクラ、サツキ、シズカ、ショウ、シン、スズ、ソラ 「た行」タイヨウ、ダイチ、タケ、チゾル、チャメ、ツキ、ツバサ 「な行」ナツ 「は行」ハル、ヒカリ、フク、フユ、ホクト、ホタル 「ま行」マイ、マコト、マツ、マッハ、マリモ、ミドリ、ミライ、ムサシ、モミジ、モモ 「や行」ヤマト、ユウキ、ユキ、ユリ 「ら行」ライ、ラク、ラック、ロック

丹頂の親鳥は、ヒナをととてもかわいらがります。同時にしっかりとしたしつけもします。猛毒のマムシを執拗に攻撃する姿を見せたり、えさの好き嫌いをさせないなど。また、親鳥より大きな外敵が襲ってきたときも、親鳥は負けると分かっている、ヒナの前に毅然と立ちまはります。丹頂は、親子間にすてきな関係を築いています。その一方で、児童虐待など傷ましい事件の報道が繰り返される人間社会。私たち人間社会に忘れがちな大切なことを丹頂は思い出させてくれます。

豊かな水辺や草場が広がる場所を丹頂は好みます。そこには、ごみなんかありません。丹頂の飛び翔に邪魔な電線は、人にとっても景観を壊す目障りなものに感じます。のびやかな心地よい環境は、私たち人間にとっても大切なもの。じっくりと時間をかけて育んできた自然。その力を借りて私たちも心地よい感触に浸れ、健やかに暮らせます。人と丹頂が共存・共生できる環境は、人にとっても住みやすい環境につながります。



丹頂が舞う総社を夢見て

私たちができること

野生動物は、本来、人とはなじみにくいもの。人と丹頂が共存・共生できる社会を目指すのなら、ある程度人間のことを知っている丹頂がいれば、二者の関係の構築はスムーズになるはず。ひよっとすると、将来、きびじつるの里で生まれた2羽が、野生鳥と私たちとの間を取り持つてくれるかもしれません。

「昔は、こんな大きな鳥が普通にいたのですから、それを支える豊かな環境もあったはずですね」ときびじつるの里の飼育員は、汗をぬぐいながら話してくれました。丹頂の子育てなどの生き方や居住環境など私たちは、丹頂を通してもう一度、自然との関わりを謙虚に学ぶ必要があるのかもしれません。よちよち歩きだったヒナたちも、今では首と脚が伸び、黄色の羽も白と黒の翼に変わりつつあります。2羽の成長ぶりを見に来てください。丹頂が舞う総社を夢見たとき、私たちができることはまず何か、そのヒントがここで見つかるかもしれません。